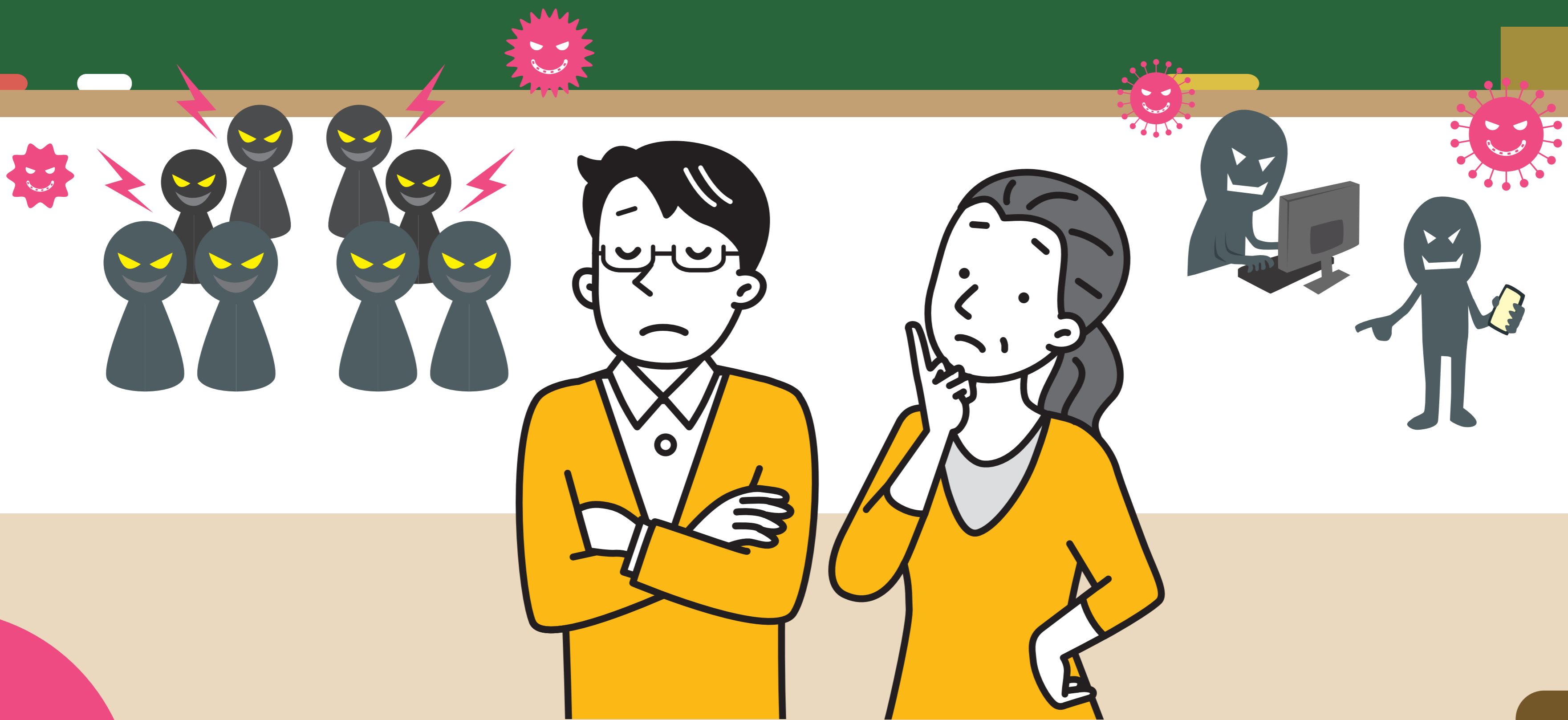


# 「感染症に起因する差別をなくすために」



はじめに

1.

## 同じ過ちを繰り返さないために

### ▶ 感染症と差別

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年末に確認され、2020年には、世界中で爆発的に広がりました。それ以来、新型コロナウイルスに感染しないための対策が講じられ、経済活動や社会的活動などに大きな影響が出ました。

とりわけ、新型コロナウイルスの感染者やその家族、医療従事者をはじめとする、エッセンシャルワーカーなどに対して、誹謗中傷やバッシング、偏見・差別、排除が起き、大きな社会問題となりました。さらに、行動の自粛等の感染対策が「世間」における同調圧力を生み、攻撃等も発生しました。

病気にかかることは、自身や大切な家族にも起こりうることで、決して他人事ではありません。社会で差別的な出来事が発生していると、体調が悪くなった際に、差別を受けることが怖くて、我慢したまま日常生活を続けてしまうことにもなりかねません。このことは、結果として感染症を広げてしまうことにつながります。

こうしたことから、三重県では感染症に係る偏見や差別についての取組は重要な感染症対策だと考え、人権啓発、教育、相談体制の充実に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症に起因する差別が、なぜ起きたのか、また歴史上で繰り返されてきた「感染症と差別」について学び、差別をなくすために「私たちには何ができるか」ということを考えます。